

山北町立小学校の統廃合について

平成23年9月

山 北 町

[ 目 次 ]

1. 町立小学校の現状及び将来	2
2. 山北町立小・中学校統廃合実施基本計画(素案)の策定について	2
3. 計画(素案)の地区説明会について	3
4. 今後の検討課題について	4
(1) 計画(素案)における小学校統廃合案について	
(2) 清水小学校について	
(3) 三保小学校について	
(4) 統廃合にあたっての諸条件整備	
5. 統廃合の時期	5
6. 参考資料	6

## 山北町立小学校の統廃合について

### 1. 町立小学校の現状及び将来

平成 23 年 5 月 1 日現在の児童数は、表-1 のとおりであり、平成 27 年度には、表-2 のとおりと推計されます。表-2 を見ても明らかなように、平成 23 年度と比べると川村小学校の児童数は 85 名の減、清水、三保小学校についても更なる減少傾向が続き、町立中学校と同様に統廃合による学校再編が必要と考えます。

表-1：平成 23 年度児童数

学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
川村小学校	77	75	61	78	77	93	461
清水小学校	5	2	10	6	5	8	36
三保小学校	4	0	6	3	2	8	23
合計	86	77	77	87	84	109	520

表-2：平成 27 年度児童数

学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
川村小学校	60	51	62	51	77	75	376
清水小学校	4	3	5	5	5	2	24
三保小学校	4	2	4	6	4	0	20
合計	68	56	71	62	86	77	420

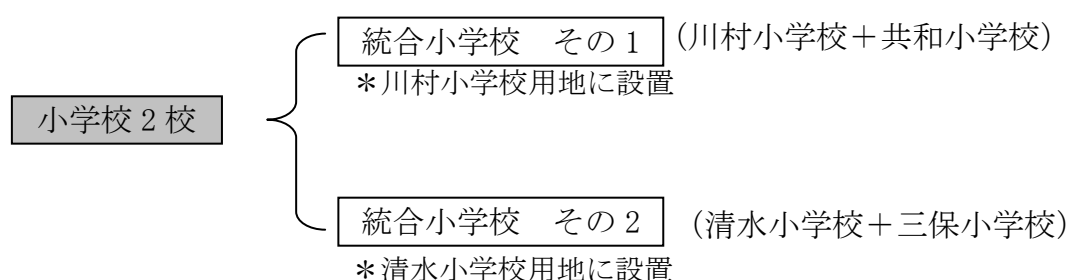
### 2. 山北町立小・中学校統廃合実施基本計画（素案）の策定について

町では「山北町立小・中学校統廃合のあり方検討会」からの最終提言などを受けて、庁内検討会議において、町立小・中学校の統廃合の検討を進め、平成 22 年 9 月に「山北町立小・中学校統廃合実施基本計画(素案)」を策定しました。

あり方検討会の最終提言では、小学校については 3 校（川村小学校、清水小学校、三保小学校）を設置することが望ましいと提案されましたが、町の計画(素案)では、次項の通り小学校を 2 校に統廃合することとしました。

なお、「統合小学校その 2」の設置場所については、児童の急病時や事故などがあった場合、清水地区には山北診療所もあり、迅速な対応が図れることや、校外学習等実施にあたっての交通機関等の利便性を考慮して、清水小学校用地に設置することとしました。

## 【 計画(素案)における小学校の統廃合案 】



### 3. 計画(素案)の地区説明会について

計画(素案)については、平成 22 年 9 月の町議会全員協議会で説明した後、10 月の共和地区から 12 月の山北地区まで、各地区で計 8 回の地区説明会を開催し、町民の方々から様々なご意見をいただきました。

なお、共和小学校については、この計画(素案)の地区説明会において、平成 22 年度をもって廃校とすることについて、地域の方々からご理解をいただきました。

そして計画(素案)の地区説明会における、小学校の統廃合に係る意見を集約・整理すると概ね次の通りです。

- 清水小学校と三保小学校の統合は、設置場所がどちらであれ、地域からの合意を得ることが困難である。
- 清水小学校と三保小学校を統合しても、10 人に満たない学級が複数存在し、十分な教育環境の整備とは言えない。
- 清水地区では、川村小学校との統合を望む意見がある。
- 小学校は、子どもの通学時などの安全面を考慮して、地域に残してもらいたいという意見もある。
- 小学校と中学校の統廃合を同時に実施しなければならないのか。

町では中学校の統廃合については地区説明会においても、小学校ほど否定的な意見も少なく、スクールバス等の諸条件が整備されれば、地域、保護者にもご理解がいただけるものと考えております。

また地区説明会でも「小学校と中学校の統廃合を別々の時期に実施することはできないのか。」という意見もいただいておりますので、町では中学校の統廃合を先行して実施することとしました。

#### 4. 今後の検討課題について

町では、地区説明会等で保護者や自治会の方々から、いただいたご意見を踏まえて、小学校の統廃合については、問題、課題が多岐にわたっており、もう少し時間をかけて検討していくことが望ましいと判断しました。

今後、次の課題を中心に地域や保護者の意見を聞きながら、小学校統廃合の検討を進めて、町の方針を決定していきます。

##### (1) 計画（素案）における小学校統廃合案について

計画(素案)では、清水小学校と三保小学校を統合して、統合小学校を清水小学校用地に設置するという計画を提案しました。

この統合案は、地区説明会等の意見から判断して、統合小学校の設置場所が清水、三保地区のいずれであれ、地域からの了承を得ることは難しいと思えますが、再度、地域の意向を確認していく必要があります。

##### (2) 清水小学校について

清水地区では、三保小学校ではなく、より児童の多い川村小学校との統合を望む意見もありました。前述の通り、清水小学校と三保小学校の統合が難しい状況でありますので、清水小学校と川村小学校の統合について、今後、保護者等からご意見を伺い、慎重に検討していく必要があります。

しかし、小・中学校の統廃合が実施された場合、清水地区から学校が無くなることになり、地域コミュニティへの影響が課題となります。

##### (3) 三保小学校について

三保地区では、小学校も統合してもらいたいという意見もありますが、できれば地域に残してもらいたいという意見の方が強いと思えます。

今後の三保小学校の児童数の推移によると、極少数化や性別の偏りなど子ども的人格形成を培う上で、教育活動に課題が生ずることが懸念されます。

そうしたことを踏まえて、過少規模校の児童に対する、計画的な学校間交流などの教育的な配慮についても、検討する必要があります。

また、町では三保小学校と川村小学校を統合することは、低学年児童の通学時間の負担が課題であると考えております。

##### (4) 統廃合にあたっての諸条件整備

統廃合実施後の児童に対するスクールバス運行を含めた、登下校時の安全面への配慮や、統合時の児童への心の負担・不安を取り除くための「心のケア対策」などの具体的な方策について、検討していく必要があります。

## 5. 統廃合の時期

町では小学校の統廃合については、今後も引き続き、保護者や地域の方々のご意見を伺いながら検討した上で、「山北町立小学校統廃合実施基本計画（案）」を策定し、住民の方々との合意形成を図ってまいります。

そして、統廃合にかかる施設整備や条例改正等の諸手続きを行う移行準備期間を考慮して、平成27年4月を目途に小学校の統廃合を進めていきます。